

平成21年12月吉日

各 位

会 社 名 プレミア証券株式会社

代表者名 代表取締役社長 山根 久典

プレミアFXファンド1号投資事業組合設立に関するお知らせ

寒冷の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、昨今の株式市況は、政局の迷走や大型の公募増資など、日本経済の縮図が株式市況に反映しているかの如く冴えない状況が続いております。また、リーマンショック後、はや1年3ヶ月の月日が経過しようとしています。景気の底入れ感はあるものの、景気の底打ち感、いまだに確認できていない状況では、ないのでしょうか？

そのような中、当社プレミア証券は、FXによる通貨を運用対象とした民法上の投資事業組合契約に基づき「プレミアFXファンド1号投資事業組合」(以下「本ファンド」といいます。)を設立しましたので、お知らせいたします。

本ファンドは、金融商品取引法第63条の3の定めにより「金融商品取引業者等が行う適格機関投資家等特例業務」(適格機関投資家と49名以下の一般投資家で構成される「私募」形式(プロ向け)により、募集、運用を行う業務となります。)の届出を関東財務局へ提出し、業務を行っております。本ファンドの特徴は、「スキャルピングトレード」(1)と「システムトレード」(2)を組み合わせ、また、他通貨取引によるリスクヘッジを行い、運用パフォーマンスの最大化を追求するファンドとなっております。

当社は、本ファンドに続き、同種のファンドを第2号、第3号と、継続的に設立を予定しておりますので、随時お知らせいたします。

- 1) テクニカル分析とリスクヘッジを組み入れたマネーマネジメントによる人的裁量取引です。
- 2) FX取引ツールのMT4(メタトレード)の自動売買機能を使用して、資金管理、発注及び決済を自動化した取引です。MT4は、アルゴリズム理論に基づいて専用開発されたオープンソースであり、テクニカル指標との組み合わせで、正確な為替相場のトレンドをキャッチしての運用を行うことが可能となります。具体的には、MT4の基本ツールを基に独自の手法を組み合わせ、特定の通貨ペアのトレンド発生時にポジションが入り、トレンドが終わるまでポジションを保有しようとしています。途中、為替相場の状況に応じて「損小利大」の一定のシステム設定に基づき損切りを行い、利益を確定させます。

本ファンドの運用対象は、金融商品取引業者が行うFXによる通貨を運用の対象としているため、通貨の価格変動により損失を生ずることがあります。FXは多額の利益が得られる反面、多額の損失を被る危険を伴う取引です。本ファンド契約締結をお申込みいただく場合には、本ファンドの取引の仕組みやリスクについて十分に内容を把握・理解し、本ファンド契約締結前までに、契約締結前交付書面をあらかじめお読みいただき、お客様の資力、取引経験及び取引目的等に照らし適切であると判断する場合のみ、自己の責任においてお申込みいただくようお願い申し上げます。

商号：プレミア証券株式会社

登録番号：金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第162号

加入協会：日本証券業協会